

平成29年度 支援センターささゆり
放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・基準上は適切である。学校内を借用していることもあり場所に限りはあるが、その都度活動内容を工夫しながらスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・利用する子どもに対して直接支援する職員が概ね2:1となる体制としている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・建物についてはほぼバリアフリー化となっている。医療的ケアが必要な子どもへ適切な支援ができるよう配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・業務内容について改善が必要となる事柄が発生した時には、その都度担当する職員で話し合いの場を設け対策を講じ、その結果について再度課題があれば検討を繰り返し、業務改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・今年度初めてアンケート方式で評価を実施した。それらの結果を踏まえて対応していきたい。また、個別面談等を通して保護者の方の意向を確認していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・法人のホームページで公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・今後、検討する。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・新採用職員研修を始め、資格や経験等に応じた研修を受講し、職員の資質、専門性の向上が図れるように研修機会を設けている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・年3回の保護者との面談、学校との連携会議等を基に放課後等デイサービス計画作成する会議を行い、個々の計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・事業所独自のツールを利用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・日々、担当職員が活動内容を検討し、立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・前日の活動を翌日評価し、固定化されないように工夫をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・平日、長期休暇時の課題はあるものの、きめ細やかに設定して支援している環境にはなっていない。今後の課題としたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・子ども自身の個別、集団での課題を明確にしたうえで、取り組む課題が反映されるように計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・当日の支援開始前、勤務職員が前日の振り返りをしたうえで、利用する子どもの支援内容や活動中の役割などの打合せをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後、翌日の職員朝会及び支援開始前の打合せにおいて、必要な情報を共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・場合によっては記録が事後になることもあるが、記録の不備がないように努めている。また、その記録が放課後等デイサービス計画の評価につながるようにしている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・放課後等デイサービス計画を評価するための会議を月1回定期的に実施している。その中で必要に応じて見直しを随時している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・ガイドライン総則を基に活動に取り組んでいる。	

平成29年度 支援センターささゆり
放課後等デイサービス自己評価表

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達支援管理責任者が中心となって参画している。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・事業のため借用している特別支援学校とは月1回定期的に連絡会議を実施している。また利用している子どもたちが所属している学校とも利用希望表等を通して連絡調整をしている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・主治医との連絡体制はないが、医師の指示等医療ケアについては家族からの連絡が中心となっている。また、医療的ケアが必要な子どもが所属する学校との定期的な会議や個人ファイル等で情報を共有している。今後、必要に応じて主治医との連絡体制を整えたい。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・保護者の同意のもと、利用契約前には保育園等の訪問を実施し、必要に応じて事業所間で情報を共有するように努めている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・障害福祉サービス事業所等へ移行する際、保護者の同意のもと情報を提供している。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・市内にある児童発達支援センターの相談員から助言を得る時がある。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・不定期ではあるが児童館や市民図書館で行われる読み聞かせには参加している。しかし、自然に子どもたちが交流できる範囲での活動機会となっており、積極的な交流の機会とはなっていない。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・児童発達支援管理責任者が地域自立支援協議会こども部会の委員となっている。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・子どもの状況に合わせて共通理解得るために、保護者の方の迎いの時間を利用して話し合いをする場を持つように努めている。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・子どもとの関わり方など助言できることは伝えているが、専門性が必要となる場合には専門機関を紹介している。	

平成29年度 支援センターささゆり
放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・利用契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談に応じて助言や支援を行い、必要に応じて関係機関と連携をできるように配慮している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・父母会等の組織はない。年1回の保護者懇談会を開催する程度にとどまっており、積極的な支援とはなっていない。
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・法人の苦情相談窓口として苦情解決委員会は設置されていることは契約時に説明をしている。現時点で委員会で解決する苦情はないものの、日頃から疑問に思われたことや、要望などがあれば速やかに対応するように心がけている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		・法人内の障害福祉サービス事業所全体の会報は発行しているが、放課後等デイサービス独自の会報はない。行事予定等についてはその都度案内している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・十分に注意をしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・その子どもの障害の特性や理解力に応じた伝え方ができるように配慮している。保護者の方とは家庭の状況などを考慮し、意思疎通が図れるように心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・地域のイベントへの参加、年1回ではあるが日頃の活動の成果を、地域の皆様に発表する機会とした行事を開催している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		・各マニュアルは作成してあるが不備な点もでてきたため今後見直し、周知したい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・訓練を実施しているが、借用している学校の避難訓練との整合性が必要。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・外部講師を招いた研修を実施した。また、日頃から不適切な支援がないか職員会議等の場において確認をしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	・対象となる子どもはいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	・家庭からの連絡で対応している。今後、保護者の同意があれば医師の指示書がでている子どもについてはコピーを提出してもらう。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・事例が発生した時には、当日のミーティングもしくは翌日の職員朝会で情報を共有することとしている。また、月1回の職員会議の場において振り返りを行っている。